《新規》　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和５年度当初予算額　17,710千円

資料2-8 ⑥

認知症になるリスクの低減に向けた効果的な予防事業の普及

～認知症「予防」発信事業～

**【事業目的】**

　 高齢化の急速な進展に伴い、2025年には、大阪府の認知症高齢者の推計人数は約46.6万人、高齢者（65歳以上）の約５人に１人と見込まれている。

　　現時点では、認知症の「予防」**※1**に関するエビデンスは未だ不十分であるが、運動不足の改善や生活習慣病の予防等が認知症の予防に資する可能性がある、と示唆されており、府内市町村においては、住民の参加を募り、「運動教室」「頭の体操」等の事業に取り組んでいる。

　　認知症の手前の段階であるMCI（軽度認知障がい）**※2**も含む認知機能の低下に、早期の段階で気づき、将来、認知症になるリスクを低減させるために、より効果的な認知症「予防」事業を市町村に普及し、発信することで、府内における認知症の予防を推進する。

 ※1 「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味

※2 　　物忘れはあるが日常生活に支障はない。年間10～30%が認知症に進行するとされている。一方、正常なレベルに回復する人もいる

という報告がある。

**【事業概要】**

認知症の手前の段階である「軽度認知障がい」のリスクを血液から評価できる検査を活用し、モ

　デル市町が行う、認知症への予防効果が期待される「運動教室」などの事業について効果を検証し、効果的な取組みの普及、発信を行う。

**【事業イメージ】**

**分析・検証**

**モデル市町村**

**検証結果を、府内市町村等に普及・発信**

・血液検査結果の分析

・モデル市町村の予防事業の効果検証



**府民の認知症になるリスクの低減**

※「運動教室」「頭の体操」等

認知症予防事業の実施





**MCIリスク検査**



　参加者に対して、血液からMCIのリスクを評価する検査を実施

・1回目：事業参加前

・2回目：事業参加後（約6ケ月後）

※令和５年度は、枚方市、田尻町をモデル市町村として、以下事業の効果検証を実施。

　枚方市：ひらかた脳活教室（「栄養」「運動」「脳トレ」「生活習慣指導」等を組み合わせた新しい教室）

　田尻町：人生大漁サロン（健康運動指導士と看護師が指導する約１時間の体操教室）